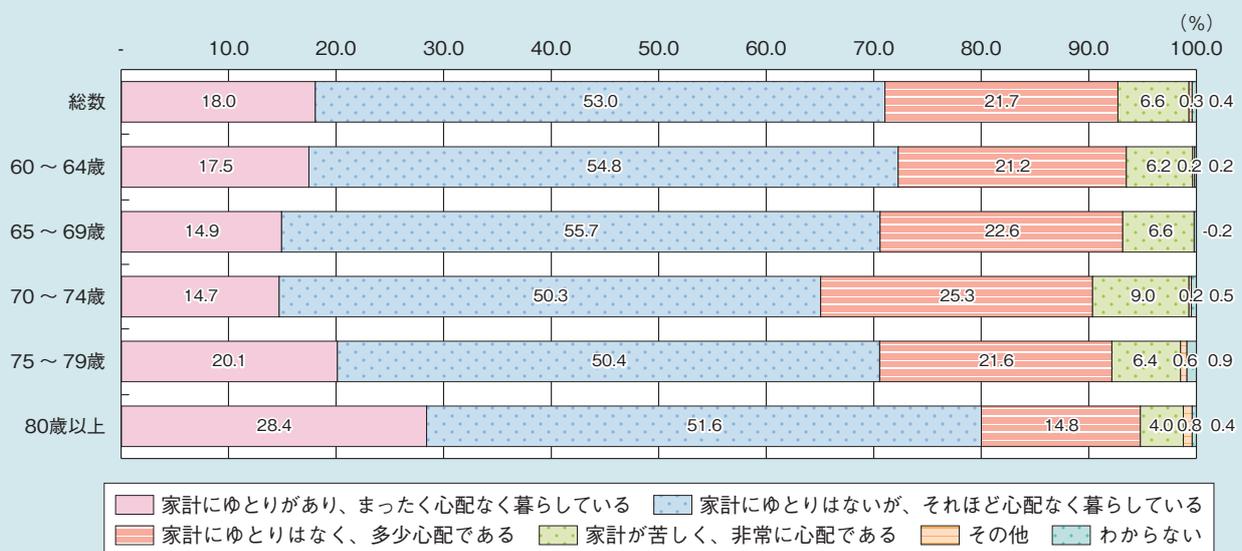


2 高齢者の経済状況

○暮らし向きに心配ないと感じる高齢者は約7割

- ・60歳以上の高齢者の暮らし向きについてみると、『心配ない』（「家計にゆとりがあり、まったく心配なく暮らしている」と「家計にゆとりはないが、それほど心配なく暮らしている」の計）と感じている人の割合は全体で71.0%であり、年齢階級別にみると、「80歳以上」は80.0%と高い割合となっている（図1-2-3）。

図1-2-3 高齢者の暮らし向き



資料：内閣府「高齢者の経済生活に関する意識調査」（平成23年）
（注）対象は60歳以上の男女

○高齢者世帯は、世帯人員一人当たりの年間所得が全世帯平均と大きな差はない

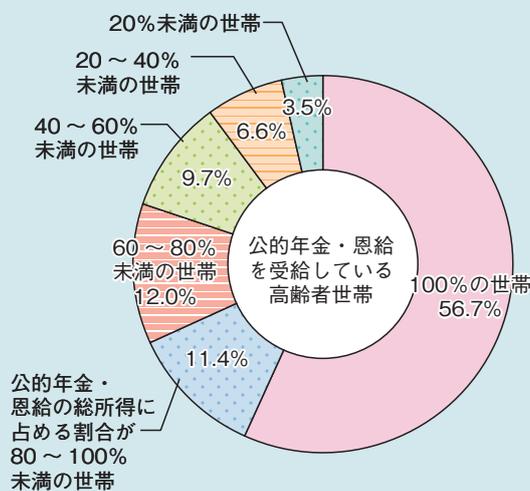
- ・高齢者世帯の平均年間所得は300.5万円で、全世帯平均（528.9万円）の半分強となっている（表1-2-4）。
- ・世帯人員一人当たりでは、高齢者世帯の平均世帯人員が少ないことから192.8万円となり、全世帯平均（205.3万円）との間に大きな差はみられない。
- ・公的年金・恩給を受給している高齢者世帯の約7割において、公的年金・恩給の総所得に占める割合が80%以上となっている（図1-2-5）。

表1-2-4 高齢者世帯の所得

区分	平均所得金額		世帯人員一人当たり (平均世帯人員)
	一世帯当たり		
高齢者世帯	総所得	300.5万円	192.8万円 (1.56人)
	稼働所得	55.0万円 (18.3%)	
	公的年金・恩給	203.3万円 (67.6%)	
	財産所得	22.9万円 (7.6%)	
	年金以外の社会保障給付金	3.4万円 (1.1%)	
	仕送り・その他の所得	16.0万円 (5.3%)	
全世帯	総所得	528.9万円	205.3万円 (2.58人)

資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成26年)(同調査における平成25年1年間の所得)
 (注) 高齢者世帯とは、65歳以上の者のみで構成するか、又はこれに18歳未満の未婚の者が加わった世帯をいう。

図1-2-5 高齢者世帯における公的年金・恩給の総所得に占める割合別世帯数の構成割合

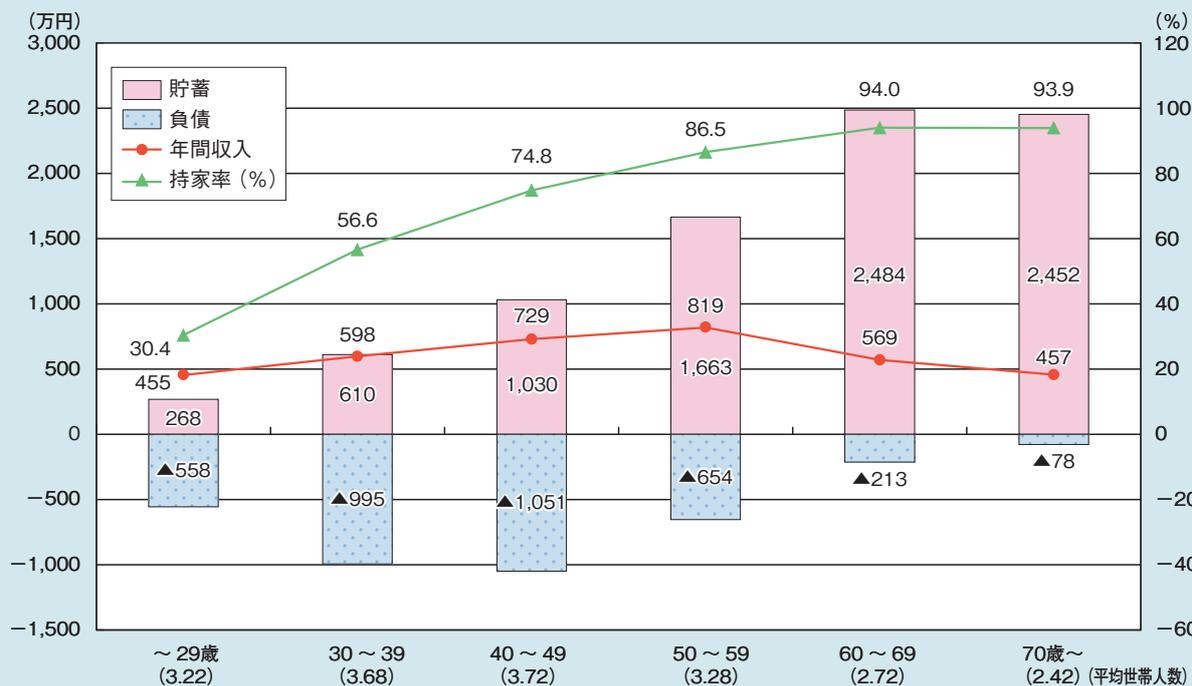


資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」(平成26年)
 (同調査における平成25年1年間の所得)

○世帯主が65歳以上の世帯では、貯蓄は全世帯平均の約1.4倍で、貯蓄の主な目的は病気や介護への備え

- ・世帯主が60～69歳の世帯及び70歳以上の世帯では、他の年齢階級に比べて大きな純貯蓄を有している(図1-2-6)。
- ・世帯主が65歳以上の世帯の平均貯蓄額は2,499万円で、全世帯平均1,798万円の約1.4倍となっている(図1-2-7)。
- ・貯蓄の目的についてみると、「病気・介護の備え」が62.3%で最も多い(図1-2-8)。

図1-2-6 世帯主の年齢階級別1世帯当たりの貯蓄・負債現在高、年間収入、持家率



資料：総務省「家計調査（二人以上の世帯）」（平成26年）

図1-2-7 貯蓄現在高階級別世帯分布

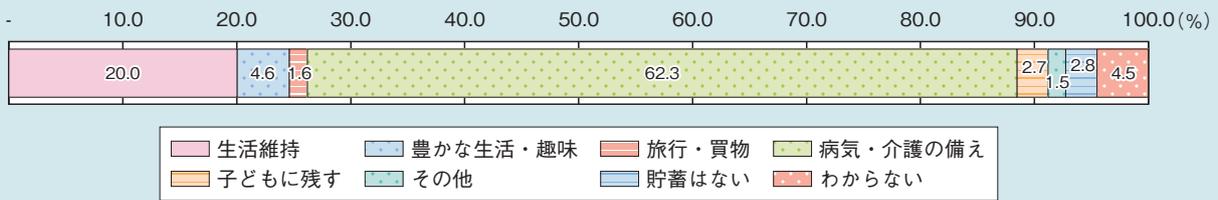


資料：総務省「家計調査（二人以上の世帯）」（平成26年）

(注1) 単身世帯は対象外

(注2) ゆうちょ銀行、郵便貯金・簡易生命保険管理機構（旧日本郵政公社）、銀行、その他の金融機関への預貯金、積立型生命保険などの掛金、株式・債券・投資信託・金銭信託などの有価証券と社内預金などの金融機関外への貯蓄の合計

図1-2-8 貯蓄の目的

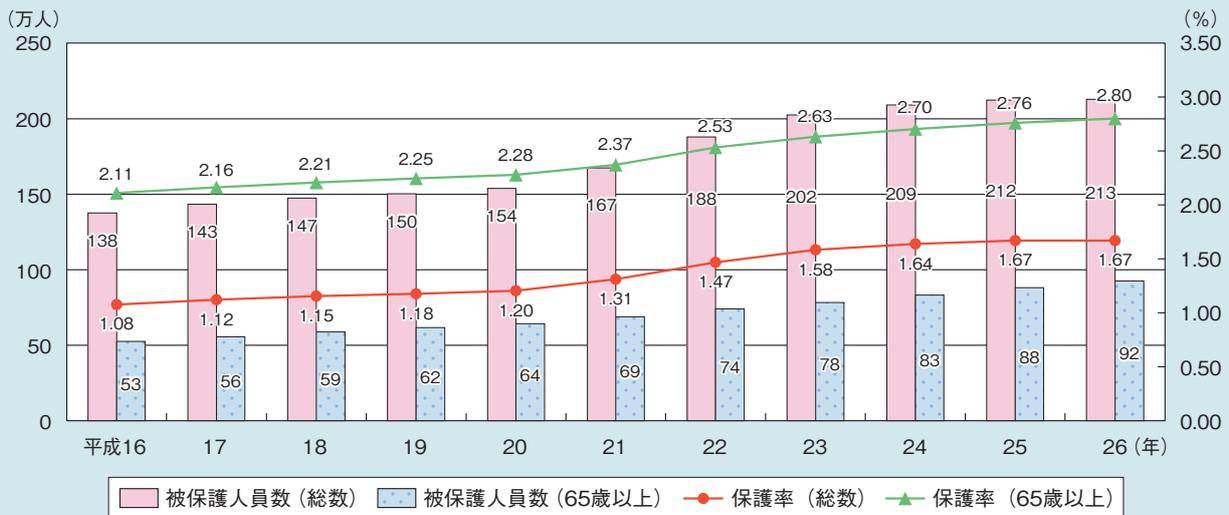


資料：内閣府「高齢者の経済生活に関する意識調査」(平成23年)
 (注) 対象は、全国60歳以上の男女

○生活保護受給者（被保護人員）は増加傾向

- ・平成26（2014）年における65歳以上の生活保護受給者は92万人で、前年より増加している（図1-2-9）。
- ・65歳以上人口に占める65歳以上の生活保護受給者の割合は2.80%であり、全人口に占める生活保護受給者の割合（1.67%）より高くなっている。

図1-2-9 被保護人員の変移



資料：総務省「人口推計」「国勢調査」、厚生労働省「被保護者調査 年次調査」より内閣府作成

3 高齢者の健康・福祉

○高齢者の半数近くが何らかの自覚症状を訴えているが、日常生活に影響がある人は約4分の1

- ・平成25（2013）年における65歳以上の高齢者の有訴者率（人口1,000人当たりの「ここ数日、病気やけが等で自覚症状のある者（入院者を除く）」の数）は466.1と半数近くの人が何らかの自覚症状を訴えている（図1-2-10）。
- ・日常生活に影響のある者率（人口1,000人当たりの「現在、健康上の問題で、日常生活動作、外出、仕事、家事、学業、運動等に影響のある者（入院者を除く）」の数）は、25（2013）年にお